学会案内

設立主旨

　わが国の高齢化は予想を上回る速さで突き進んでおり、ハード、ソフトにわたる居住環境の整備が急務となっています。本格的な高齢社会は、少子社会でもあり、次代を担うすべての国民の生活に視点をおいた居住環境施策の展開が求められています。

　しかしながら、今日の急激な社会の変動に多くの学問分野が後追い的な研究に終始しています。おそらく、これまでにない未曾有の高齢社会に直面し、依拠すべき理念が確立されていないこととも無縁ではないでしょうか。

　こうした状況を踏まえ、しっかりとした研究基盤を確立する必要があり、そのためにさまざまな専門分野が結集し、問題の所在を確認し、その解決に向けた共同作業を展開する必要があります。

　本学会は、そのような主旨から法律学、経済学、社会福祉学、医学、リハビリテーション工学、理学療法学、作業療法学、情報・通信工学、人間工学、土木工学、建築学、都市計画学、造園学、観光学など市民の生活基盤づくりに関係するあらゆる分野の方々が結集し、市民生活の機会均等と生活の質の向上に向けた新たな「福祉のまちづくり」の枠組みづくり、研究開発に向けた取り組みを目指し、1997年7月11日に設立したものです。

一般社団法人 日本福祉のまちづくり学会

2019年5月20日

日本福祉のまちづくり学会会長

小山 聡子

会長挨拶

　本学会は、1997年7月11日に、全国的な福祉のまちづくり活動連携と学術研究を目的に掲げ、様々な分野を横断する組織として設立（当初の名称は「福祉のまちづくり研究会」）しました。20年にわたり活動を続けることができたのは、歴代の会長や役員をはじめとする諸先輩、そして何よりも会員の皆様のお蔭です。

　この20年間を振り返ると、学会誌及び学術論文活動、特別研究委員会における諸種の取り組み拡大、全国大会における講評付きの特定課題研究発表導入、そして論文賞及び市民活動賞の導入など、諸種の通り組みが奏功しております。各支部におけるユニークな活動も盛んです。ただ、「まち」という必ずしも物理的な範囲のみを示すとは限らない抽象的な概念をめぐって、当初目指した多領域の連携がどこまで進展したのかを考えると、まだまだ本学会には進化発展の課題が残されていると考えます。

　私たちの生活の場である「まち」において、解決を要する社会問題は次々と現れます。誰のどんな状況が、どのように解決されるべきかを考える時、その多様性同士の間に葛藤が生じる場合もあり得ます。私達は、一人一人がいわゆる「専門領域」の別にかかわらず、必ずや「まち」における生活者であり、その意味では何らかの「当事者」であると思います。「福祉のまち」を形成する当事者同士の協働を目指す本学会では、さらに多角的に課題を検証してまいりたいと存じます。

　物理的な空間で言えば、個人の住宅空間から町内、市町村から都道府県、国家から地球規模まで、そしてソフト面の概念で言えば、人権擁護の理念から多様な文化概念まで、本学会でカバーする範囲はとても広く柔軟です。まだここが足りないのではないか？と考えたあなたの出番です。どうぞ本学会の主旨にご賛同いただき、より多くの方々に「福祉のまちづくり」の仲間になっていただきたくお誘い申し上げます。

学会の主な事業

①福祉のまちづくりの理論並びに研究及び技術の向上に関する調査研究

②全国大会（年1回）の開催

③シンポジウム、セミナー、研究会、講演会、研修会及び見学会等の開催

④福祉のまちづくりに関する情報の交換

⑤支部活動、支部研究会（7支部）

⑥ニュースレター「福祉のまちづくり」発行（随時メール通信）

⑦研究論文集の発行

⑧学会誌『福祉のまちづくり研究』発行（年2回）

⑨社員総会（年1回）、理事会（適宜）、代議員会、各種委員会活動

⑩福祉のまちづくりに関する国際協力、国際交流

各分野の活動概要

法律学分野

◆ ノーマライゼーションの思想によるすべての人の人権保障を目指した法整備等。

経済学分野

◆ 高齢者・障害者等の社会参加を支える経済政策基盤の整備、福祉・交通とコスト負担の研究等。

社会福祉学分野

◆ 地域社会における、対等で歪みのない人間関係を前提とした支援関係の構築等。

社会学分野

◆ すべての人間が、個人の主体性を阻害されない、社会システム構築の研究等。

医学分野

◆ 高齢者・障害者等の地域生活を支える医療とリハビリテーション・システムの整備等。

看護学・保健学分野

◆ 安心して住み続けることができるための看護・保健・医療の連携等。

リハビリテーション工学分野

◆ 高齢者・障害者等の生活機能を補完するリハビリテーション機器の開発、支援活動等。

理学療法学・作業療法学分野

◆ 総合的なリハビリテーションの視点による居住環境の整備、福祉のまちづくりの推進等。

情報・通信工学分野

◆ 利用者の個別ニーズに対応した情報手段、アクセシビリティの研究等。

機械工学分野

◆ 高齢者・障害者等の行動特性・身体特性に配慮した研究開発等。

人間工学分野

◆ 個々の利用者の視点に立脚した環境・道具開発に向けた基礎的研究等。

土木工学分野

◆ 高齢者・障害者等の行動特性や利用実態研究による土木計画技術・整備論の研究等。

建築学分野

◆ 福祉のまちづくりに関する総合的な調査研究・技術開発等。

造園学分野

◆ 公園・緑地・遊び場など屋外のオープンスペースの計画や整備等。

観光学分野

◆ すべての人の旅行機会を促進するために必要な観光学の構築等。

市民・障害者団体

◆ 障害者・高齢者等の日常生活、社会活動参加に関わる利用者の人権保障活動等。

学会の組織

会長・代表理事

理事会

代議員会

社員総会

総務委員会

会誌委員会

論文委員会

学会賞選考委員会

事業委員会

東京2020オリンピック・パラリンピック推進委員会

国際委員会

災害研究・支援委員会

学術研究委員会－特別研究委員会

７支部

事務局

役員一覧（2019-2020 年度）

会長（代表理事）

小山聡子（日本女子大学）

副会長

佐藤克志（日本女子大学）

磯部友彦（中部大学）

石塚裕子（大阪大学）

長谷川万由美（宇都宮大学）

原　利明（鹿島建設）

理事

秋山哲男（中央大学研究開発機構）

稲垣具志（中央大学研究開発機構）

江守　央（日本大学）

大森宣暁（宇都宮大学）

狩野　徹（岩手県立大学）

澤田大輔（交通エコロジー・モビリティ財団）

高橋儀平（東洋大学）

松田雄二（東京大学）

水村容子（東洋大学）

柳原崇男（近畿大学）

支部理事（支部長）

北海道支部 鈴木克典（北星学園大学）

東北支部　岡　正彦（東北福祉大学）

関東甲信越支部　八藤後猛（日本大学）

東海北陸支部　嶋田喜昭（大同大学）

関西支部　田中直人（島根大学）

中国四国支部　山岡俊一（豊田工業高等専門学校）

九州沖縄支部　岩浦厚信

監事

黒嵜隆（フロンティア法律事務所）

男鹿芳則（世田谷トラストまちづくり）

支部紹介

北海道支部

札幌を中心とした全道各地において、福祉のまちづくりに資するセミナーや研究会・勉強会等の企画・実施・後援・協力等を行っています。また、北海道において特徴的な積雪寒冷地における研究や活動、ユニバーサルツーリズムやユニバーサル上映等、道内の取り組みを応援する活動を積極的に行っています。

東北支部

東日本大震災以降、様々な取り組みが行われている中で、新しい東北のまちづくりに研究者・地域の皆様とともに被災者支援に取り組んでいます。今後も被災地域の自立に向けて、支援の継続と諸団体との連携を図りながら、活動の成果を発信していきます。

関東甲信越支部

支部地域は、東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬、山梨、長野、新潟の1都9県に及び、東京オリンピック、パラリンピックに関わる諸活動のほか、各地域での研究・交流活動を進め、福祉のまちづくりに関わる課題にも取り組みます。

東海北陸支部

この地域では、多様な自然地形の中で、東西の両大都市圏に挟まれながら独自の文化を形成しています。障害当事者の主体的参加による中部国際空港ターミナルの設計という貴重な体験を発展させ、産業界との連携を図り、福祉のまちづくりの進め方を考えていきます。

関西支部

1998年に活動をスタートし、それ以来年数回のセミナーの開催や勉強会の実施の他、シンポジウムや関連団体との共催企画など、数多くの活動を継続しています。今後も関西地域に密着した福祉のまちづくりに関するテーマや、関西発信の提案も企画していきます。

中国四国支部

支部は、中国地方と四国地方の広い範囲で活動している会員で構成されています。「支部研究・活動発表会」、「講演会」、「支部セミナー」などを開催し、学術・実務に関して会員間で情報共有を促進しています。

九州沖縄支部

支部は、2001年から福祉のまちづくりの啓発を目的として、毎年各県持ち回りで、総会や支部大会において、研究発表大会・講演会・パネルディスカッションなどを開催して、地域に根ざした活動を進めています。

特別研究委員会

1 「住民参画・社会環境」特別研究委員会 ／長野 博一

　本研究委員会では、住民参加・参画の具体的事例から、当事者らが参画する福祉のまちづくりにおける自助・共助・公助等の視点で取り組む方策を議論しています。また、障害理解・多様性理解等を多角的に研究し、今後の社会環境づくりへ向けた問題提起を行なっています。

2 「子育ち・子育てまちづくり」特別研究委員会／植田 瑞昌

　こどもが健やかに育ち、子育てがしやすい社会に向けた方策について、学会の学際的な特徴を生かして、建築、交通工学、福祉などさまざまな視点や、子育て当事者の視点から調査・研究をしています。

3 身体と空間」特別研究委員会／原　利明

　本研究委員会は、「身体と空間の関係性」を研究動機とし、誰もが暮らしやすいまちづくりの計画手法を提案することを目的としています。建築計画・建築環境工学・人間工学など多様な研究分野に加え、デザイン実務者や障害当事者も加わった幅広いプラットフォームの上で議論を行っています。

4「サイン環境」特別研究委員会／田中 直人

　安全快適でわかりやすい移動環境の実現が求められる中、これに必要な人間と環境の生理的・心理的特性と環境の空間特性を考慮した基礎的研究の成果をとり上げ、それらを反映したサイン環境のデザイン手法の展開につなげる活動をしています。

5「心のバリアフリー」特別研究委 員会／中野 泰志

　「心のバリアフリー」を「やさしさ」や「接遇」だけではなく、「社会モデル」の観点から捉え直し、障害理解や当事者参加のあり方を変革することを目指して、研修コンテンツの作成や実践を行っています。

6 「地域福祉のモビリティデザイン」特別研究委員会／吉田　樹

　高齢化の進展と人口減少社会に直面する中，新たなモビリティサービスを在来の公共交通やスペシャル・トランスポート・サービス（STS）も含めて，地域福祉の向上を図るため，どのように機能させればよいのかを実証的に明らかにすることを目指しています。

7「法制度」特別研究委員会／男鹿 芳則

法制度特別研究委員会では、バリアフリー法、障害者差別解消法などの福祉のまちづくりに関する法律や、自治体が制定している福祉のまちづくり条例などについて、調査研究活動を展開することで、福祉のまちづくりのスパイラルアップを目指しています。

8「国家資格」特別研究委員会／上野 俊行

　国家資格試験での障害者への特別措置の配慮は、大学等の講義や試験間でも大きく異なり、建築・不動産、福祉、医療などの多岐にわたる国家資格試験での障害者特別措置について調査するとともに、試験実施機関に問題点の指摘や提案を行っています。

9「文化財・世界遺産のアクセシビリティ」特別研究委員会／髙橋 儀平

　誰もが平等に、文化財、世界遺産を見学でき、楽しむことができるように、国内外の文化財、世界遺産の調査研究や研究会を実施しています。これらの活動を基に、文化財・世界遺産のアクセシビリティの改善を啓発・推進しています。

10「障害のある人の権利に関する」特別研究委員会／川内 美彦

　世界的には障害のある人の社会参加は「権利」であるとされていますが、わが国ではまだその考え方が定着していません。当委員会は障害のある人の社会参加を「権利」として考えることについて社会の認識をどう発展させていくかを検討しています。

11「インクルーシブリサーチ」特別研究委員会／森口 弘美

知的障害者との協働研究「インクルーシブリサーチ」をヒントに、まちづくりのプロセスに多様な当事者が参画する仕組みを検討し、その具体的な仕組みとして当事者リサーチャーバンクの立ち上げを目指しています。

入会のご案内

新たな「福祉のまちづくり」に参加してみませんか？

　本学会は設立主旨にあるように、さまざまな分野での多様な経験と研究成果を土台に、活動を進めていきます。

　多くの方々が福祉のまちづくりにご参加下さいますようお願い申しあげます。

会員種別　入会金　年会費　入会申込

正会員（個人）　2,000円　10,000円／年　個人として申し込み

学生会員 　2,000円　3,000円／年　個人として申し込み

賛助会員　免除　10,000円／年（1口）3口以上とする。　賛助として申し込み

年間購読のご案内

福祉のまちづくりに興味のある方、学会誌を購読しませんか？

　学会誌は、研究レポート、特集記事、各種委員会、支部の活動などを掲載しており、さまざまな学会の活動をお伝えするものです。幅広い学びの機会を提供するとともに、学際的な研究への関心を引きつけるものです。年間2号発行します。

購読種別　購読料　入会申込

一般　3,000円/年　購読者として申し込み

※購読者は学会誌の購読のみが可能であり、正式な学会員ではありませんのでご注意願います。

学生　3,000円1学年から4学年（大学期間中）　購読者として申し込み

※購読者は学会誌の購読のみが可能であり、正式な学会員ではありませんのでご注意願います。

各お申し込みは、◀こちらのホームページよりお願いいたします。

検索　福まち学会HP　http://fukumachi.net/

入会の受付及び、会費の納付状況や発行物に関してなど、ご不明な点お問い合わせ全般は、下記の「一般社団法人 日本福祉のまちづくり学会事務局」までお願いします。

一般社団法人 日本福祉のまちづくり学会事務局

メール ： jais-post＠bunken.co.jp（福まち学会専用：「＠」は小文字）

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター (株)国際文献社

TEL：03-6824-9374　FAX：03-5227-8631 　受付時間：（月～金）平日9:00～17:00（12:00～13:00を除く）